
MOBILE SUIT GUNDAM ANOTHER SEED

影御津

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

MOBILE SUIT GUNDAM ANOTHER SE
ED

【Nコード】

N3459C

【作者名】

影御津

【あらすじ】

作者の、悪役がいい人になったら…等のif盛り沢山のSEEDです。DESTINYのキャラも出ます。

ザフト側登場人物一覧

ここでは、今作品に置けるザフト側の登場人物の設定を公開しています。

展開が進む度に随時、更新及び追加する予定です。
ちなみに、主要人物以外は敢えて省きます。

キラ・ヒビキ・クルーゼ

言わずと知れた。種の主人公、キラ・ヤマトの今作品での名前。
今作では、あのラウ・ル・クルーゼの養弟。
そして、ミゲルと同期である。

ザフトアカデミーを歴代最年少、最高成績で卒業した将来有望株の赤服。

乗機 ジンハイマニューバ ストライク

ラウ・ル・クルーゼ

言わずと知れた仮面の人。

今作では、スーパーコーディネーターと知りながらキラを養弟にするなど、原作と百八十度違ういい人。

勿論、キラにはメンデルでの真実等を打ち明けた上で養弟にしている。

ちなみに妻子持ちであり、嫁さんはクルーゼの事を全て聞いている。

ヴェサリウスを母艦として、随伴艦としてガモフを率いるクルーゼ

隊の隊長で白服。

乗機 ジンハイマニユーバ シグー

レイ・ザ・バレル

原作では、ホモ設やゲイ設が噂に上がった人。

今作では、完全に女性として登場する。

クルーゼの妹的存在でもある。

クルーゼと同じくアル・ダ・フラガのクローンでありながら、突然変異で女性として誕生。

同じく失敗作として扱われるが、突然変異のおかげか、テロメアの量が一般人と大差が無くなった為、寿命は一般人と変わらない。

ザフトアカデミーの訓練生になる予定

乗機 今の所なし

パトリック・ザラ

今作では、急進派でありながら、きちんとした冷静な判断力を持つしっかりした人。

血のバレンタインでレノアを失うも、ナチュラルへの憎しみを抑えてコーディネーターにとって、よりよい世界にしようと日夜取り組んでいる。

プラント評議会議員兼国防委員長

乗機 ある訳ない

ギルバート・デュランダ

今作に置いては、殆ど設定が変わらない。
唯一の違いがあるとすれば、タリアに拘っていないということ。
今作では、嫁さんや子供もいる。

プラント評議会議員

乗機 ある訳ない

ミゲル・アイマン

今作では、キラの同僚であり、同期でもある。
やはり、今作でも緑服である。

緑でありながら、黄昏の魔弾の二つ名を持つ。

乗機 ジン ミゲル専用ジン

アスラン・ザラ

巷では、凸やヘタレや薄い人とかキラ至上主義者と言われる人。
今作では、キラとは一切関連性がない、只の同僚である。

キラと同じく赤服。

乗機 ジン イーリス

ラスティ・マッケンジー

原作にてG強奪に失敗した人。

原作と同じ

乗機 ジン

イザーク・ジュール

原作と同じ

原作と同じ

乗機 ジン デュエル

ディアッカ・エルスマン

原作と同じ

原作と同じ

乗機 ジン バスター

ニコル・アマルフィ

原作と同じ

原作と同じ

乗機 ジン ブリッツ

ラクス・クライン

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 今の所なし

シーゲル・クライン

原作と同じ

原作と同じ

乗機 ある訳ない

アンドリユー・バルトフェルド

原作と同じ

原作と同じ

乗機 ラゴウ

マーチン・ダコスタ

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 レセツプス

以下、追記予定

連合側登場人物一覧

ここでは、今作品に置ける連合側の登場人物の設定を公開していません。

展開が進む度に随時、更新及び追加する予定です。
ちなみに、主要人物以外は敢えて省きます。

カナード・パルス

今作では、キラの変わりである。

スーパードコーディネーターの失敗作という点は変わらず。
今回は、大西洋連邦に属している。

大西洋連邦軍の少尉

乗機 ジン

マリユール・ラミアス

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 アークエンジェル

ムウ・ラ・フラガ

原作と同じ

原作と同じ

乗機 メビウスゼロ

ナタル・バジルール

今作では、最初から軍の在り様に疑問を感じている。
原作と違い、最初から人道的。

大西洋連邦軍 中尉

乗艦 アークエンジェル

ムルタ・アズラエル

今作では、ブルーコスモスの盟主でありながら、穏健派という人。
コーディネーターに関しては、自然にナチュラルに回帰してもらっ
た方がいいと考えている。
現在の悩みの種は、ロード・ジブリールの暴走である。

ブルーコスモスの盟主兼ロゴスのメンバー

乗艦 今の所なし

ウィリアム・サザーランド

今作では、アズラエルを主とする穏健派。

大西洋連邦軍 大佐

乗艦 アガ멤ノン級

デュエイン・ハルバートン

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 メネラオス

ロード・ジブリール

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 今の所なし

フレイ・アルスター

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 アークエンジェル

サイ・アーガイル

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 アークエンジェル

トール・ケーニヒ

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 アークエンジェル

ミリアリア・ハウ

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 アークエンジェル

アーノルド・ノイマン

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 アークエンジェル

ダリダ・ローラハ・チャンドラ二世

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 アークエンジェル

コジロー・マードック

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 アークエンジェル

カズイ・バスカーク

原作と同じ

原作と同じ

乗艦 アークエンジェル

以下、追記予定

オーブ側登場人物一覧

ここでは、今作品に置けるオーブ側の登場人物の設定を公開して
います。

展開が進む度に随時、更新及び追加する予定です。
ちなみに、主要人物以外は敢えて省きます。

カガリ・ユラ・アスハ

原作と同じ

原作と同じ

乗機 今の所なし

ロドニル・キサカ

原作と同じ

原作と同じ

乗機 今の所なし

ウズミ・ナラ・アスハ

原作と同じ

原作と同じ

乗機 ある訳ない

ウナト・ロマ・セイラン

今作では、原作と違う所は清廉潔白であるだけ。

オーブの理念については、ある一面としては認めているモノの、所詮理想論であり、臨機応変に対応する事が、正しいと思っている。

五大氏族 セイラン家の当主

乗機 ある訳ない

ユウナ・ロマ・セイラン

原作と違う所は、ナヨナヨした所がなく、清廉潔白である事に加えて、かなり優秀である事である。

今作に置いては、その優秀な頭脳と、国民第一主義で、相当いい人になっている。

ちなみにカガリ・ユラ・アス八とは、婚約者ではない。

五大氏族 セイラン家の次期当主

乗艦 今の所なし

トダカー佐

原作と違い、アス八ではなく、国民を第一としている。

オーブ国防軍 一佐

乗艦 今の所なし

ロンド・ギナ・サハク

原作と同じ

原作と同じ

乗機 アストレイゴールドフレーム

ロンド・ミナ・サハク

原作と同じ

原作と同じ

乗機 今の所なし

以下、追記予定

登場モビルスーツ一覧

ここでは、今作品に登場するモビルスーツの設定を公開しています。展開が進む度に随時、更新及び追加する予定です。

ちなみに、型式番号は作者が覚えていないものについては省きます。

名称 機体名称
型式 型式番号
種別 原作登場かオリジナル
概略 簡単な説明

名称 ストライク
型式 G A T - X 1 0 5
種別 原作
概略 原作と同じキラの乗機になるが、今作では奪取される側である。

名称 デュエル
型式 G A T - X 1 0 2
種別 原作
概略 原作通り

名称 バスター
型式 G A T - X 1 0 3
種別 原作
概略 原作通り

名称 ブリッツ

型式 GAT-X207
種別 原作
概略 原作通り

名称 イージス
型式 GAT-X303
種別 原作
概略 原作通り

名称 インセプター
型式 GAT-X106
種別 オリジナル
概略 ストライクのエール、ソード、ランチャーを高次元に纏めようとした機体。

武装 アームビームガン×2
対艦刀×1
ビームサーベル×1
大口径グレネードランチャー×1

イメージ的には種運命のデスティニーのようなモビルスーツと違って下さい。

名称 ジン
型式 ZGMF-1017
種別 原作
概略 原作通り

名称 ジンハイマニューバ
型式 ZGMF-1017/M

型式	名称	概略	種別	型式	名称	概略	種別	型式	名称	概略	種別	型式	名称	概略	種別
ZGMF-600	ゲイツ	原作通り	原作	UMF-4A	グリーン	原作通り	原作	TF A-2	ザウート	原作通り	原作	TMF/A-802	バクウ	原作通り	原作
													AMF-101	デイン	原作通り
														ZGMF-515	シグー
															ジンの高機動仕様
															SEED MSV

概略	種別	型式	名称	概略	種別	型式	名称	概略	種別	型式	名称	概略	種別
原作通り	原作	MBF-002	M1アストレイ	原作通り	原作	UMF-5	ゾノ	原作通り	原作	TMF/A-803	ラゴウ	原作通り	原作

プロローグ（前書き）

やっちゃった感の強い作品になっています。

プロローグ

C・E・71年1月16日

とある宙域において、プラント本国に向かい二隻の艦が航行していた。

その一室でとある二人が、およそ人には聞かせられないだろう内容の話をしていた。

「…ラウ、今度配属される人達の事聞いてる？」

彼の名は、キラ・ヒビキ・クルーゼ。

C・E・70年2月14日に起こった、血のバレンタインを契機に始まった戦争であり、その後に勃発したグリマルディ戦役において、初陣でありながらジンハイマニューバを駆り、あのラウ・ル・クルーゼに迫る戦果を叩き出したザフトレッドだ。

「…聞いているさ。厄介な事に、全員が評議会議員の御坊ちゃん達で、ザフトレッドときた。我が隊に配属して置けば安全だと思っ込んでいるらしい」

そして、もう一人の彼の名はラウ・ル・クルーゼ。

キラと同じくグリマルディ戦役に置いて、ネビュラ勲章を授与される程の戦果を上げ、その功績でこのヴェサリウスを受領したクルーゼ隊の隊長だ。

「…評議会議員の子息で赤服、本当に厄介だね。」

…しかも、評議会議員の子息って事は、第二、第三世代なんだよね。キラは第一世代のコーディネーターだ。

「ああ、コーディネーター特有の傲岸不遜さが、特に際立ったのが

な……」

第二、第三世代のコーディネーターは程度の差はあるにしても、いずれもナチュラル蔑視の傾向が第一世代よりも高い。しかも、移民してきたコーディネーターやハーフコーディネーター、クウォーターに対して、同様な傾向を持つ者が多い。

「……嫌だなあ、慢心して、アツサリサクツと死なれたんじゃ困った事になりそうだし」

キラは、そのような事態になった時の事を考えると嫌そうな顔をする。

「それもそうだが、血のバレンタインの悲劇の事があるとはいえ、オペレーション・ウロボロスによる傷跡はそれ以上の悲劇をもたらした。」

「私には、評議会が無用の敵を作り出している事に懸念を感じているのだがね」

オペレーション・ウロボロス

地球の赤道をウロボロスに見立て、各地のマスドライバー施設を制圧、使用不可の状態に追い込む作戦である。

この際、最初に行われる降下作戦を確実なモノにする為に、世界中にバラ蒔かれたニュートロン・ジャマーは、地球の各国をエネルギー不足の危機に陥れた。

その一連の被害者は、血のバレンタインに置けるユニウスセブンに置ける被害者の十倍以上である。

4月1日に行われたこの行為は、後にエイプリルフル・クライシスと呼ばれ、連合のみならず地球に住むナチュラル、コーディネーターを問わず、プラントは非難される事になる。

このような事態を引き起こしたプラント評議会に、クルーゼは危機感を募らせていた。

「デュランダル議員やザラ国防委員長は違つみただけけれど」
キラやクルーゼは、ギルバート・デュランダルとの付き合いが長い、パトリック・ザラに対しても直属の上司といった感じで、この二人がこのような事態を容認するとは思っていない。
「彼等にとつては、ナチュラルへの報復よりも、コーディネーター全体の…プラントの利益の方が最優先だからな」
その点についてはシーゲル・クラインも同様なのだが、二人にとつては今一つ爪が甘く信用していない。
今回の件がいい例であり、クライン派が大多数を占めている現在の評議会に、恨みを持つ地球の人間は相当なものだろう。

そのような会話を二人は続けていたのだが、副官から呼び出しが掛かる。

「…アデス、一体何事かね？」

「すみません、クルーゼ隊長。もう少しで本国に到着しますので、ブリッジにて待機して貰いたいのですが」

「ふむ、わかった。すぐそちらに行く」

クルーゼは回線を切り、

「これから私はブリッジに向かう。済まないが、キラは自由にしていてくれて構わんよ」

キラにそう言いながら部屋を出て、ブリッジへ向かった。

一人部屋に残ったキラは、暇を持って余す事になってしまった。

(…自由にしてくれて言われてもね。

…まあ、いいか。アプリリウス・ワンに寄るって事は久し振りにレイに会える訳だし、それを楽しみに我慢するか)

キラの言うレイとは幼馴染の少女の事だ。

名前をレイ・ザ・バレルといい。

クルーゼの妹のような存在である。

「クルーゼ隊長、おやすみのところすみません」

クルーゼがブリッジインすると、副官のアデスが謝ってきた。

「気にするな、アデス。アプリリウス・ワンに入港するのに、責任者がブリッジにいないとはならない事ぐらいはわかっている」

その時の事だった。オペレータから報告が飛ぶ。

「クルーゼ隊長、本国から通信です」

「…そうか、繋ぎたまえ」

クルーゼは、オペレータに通信を繋ぐよう指示した。

「クルーゼ隊所属、ヴェサリウスの責任者、ラウ・ル・クルーゼ隊長ですね？」

目の前のモニターに、宇宙港のオペレータの姿は写る。

ちなみに、クルーゼは艦長ではない。基本的にクルーゼはモビルスーツのパイロットであり、その事はプラントに置いて、周知の事実である。艦の運営は副官のアデスが主に担っている為、クルーゼは責任者という立場になるのだ。

「こちらはヴェサリウスの責任者、ラウ・ル・クルーゼだ。アプリリウス・ワンへの入港を許可されたし」

本国に呼び出されたとはいえ、クルーゼは形式上の入港の申請をしなければならぬ。

「その事については、事前に通達されておりませぬ。ヴェサリウスのアプリリウス・ワンへの入港を許可します」

このようなやり取りを経て、ヴェサリウスはアプリリウス・ワンの宇宙港への入港を済ませたのだった。

ブログ（後書き）

今回は、設定だけは前から有ったものを引っ張り出して投稿してみました。

恐らく更新頻度は不定期になる可能性が高いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3459c/>

MOBILE SUIT GUNDAM ANOTHER SEED

2010年10月9日16時37分発行